

県内経済とくらしむき

長崎県県民生活環境部統計課

〔1〕おもな動き

【推計人口】 …… 1月
令和3年1月1日の推計人口 1,308,277人
世帯数 560,391世帯

参考：H27.10.1 現在国勢調査総人口：1,377,187人、
世帯数：560,720世帯

1 推計人口

令和3年1月1日現在の推計人口は、1,308,277人で、前月(1,309,143)に比べ866人の減少となった。市部では、雲仙市(36)の1市で増加し、長崎市(△212)、佐世保市(△197)、南島原市(△86)、諫早市(△71)、西海市(△56)、平戸市(△55)、島原市(△36)、壱岐市(△36)、対馬市(△33)、五島市(△17)、松浦市(△5)、大村市(△2)の12市で減少した。

郡部では、川棚町(9)の1町で増加し、時津町(△45)、長与町(△25)、東彼杵町(△17)、小値賀町(△7)、新上五島町(△6)、波佐見町(△4)、佐々町(△1)の7町で減少した。

自然動態は、出生数738人、死亡数1,641人で903人の減少、社会動態は、転入者数2,694人(県内転入を含む)、転出者2,657人(県内転出を含む)で、37人の増加となった。

2 世帯数

令和3年1月1日現在の世帯数は、560,391世帯で前月(560,625)に比べ234世帯の減少となった。

(注)

異動人口推計＝H27 国勢調査確定数＋住民基本台帳
(転入、転出、出生、死亡)

【賃金・労働時間・雇用(30人以上)】… 11月

1人当たり現金給与総額 282,368円
対前月比 8.8%増加
対前年同月比 2.2%増加

1 賃金

11月の常用労働者1人当たりの賃金をみると、現金給与総額は282,368円で、前月に比べ8.8%増加し、前年同月に比べ2.2%増加した。

現金給与総額を定期給与(きまって支給する給与)と特別給与(特別に支払われた給与)に分けると、定期給与は259,123円で、前月に比べ0.1%増加し、前年同月に比べ3.8%増加した。

特別給与額は23,245円で、前年同月に比べ、3,702円減少した。

2 労働時間

11月の常用労働者1人当たりの労働時間をみると、総実労働時間は149.9時間で、前月に比べ3.7%減少し、前年同月に比べ0.8%減少した。

総実労働時間を所定内と所定外に分けると、所定内労働時間は138.7時間で前月に比べ3.9%減少し、前年同月に比べ0.8%減少した。

所定外労働時間数は11.2時間で、前月に比べ0.9%減少し、前年同月と同値であった。

3 雇用

11月の常用労働者数は210,743人で、前月に比べ0.3%増加し、前年同月に比べ6.9%減少した。

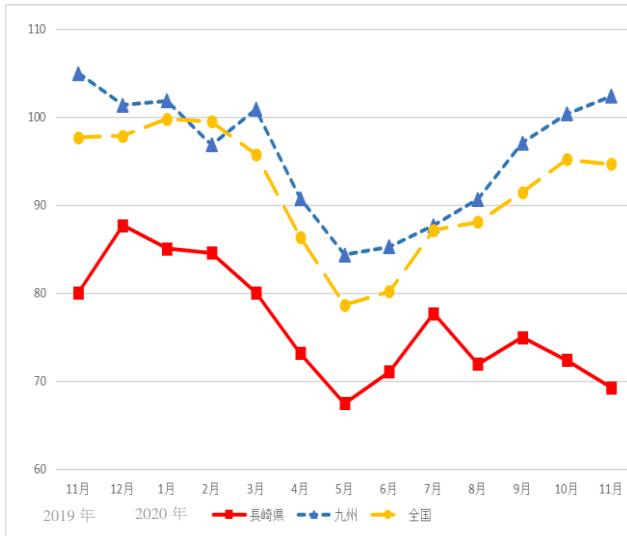
【鉱工業生産指数】…………… 11月

令和2年11月の鉱工業生産指数

(平成27年=100)

区分	季節調整済指数		原指数	前年同月比(%)
	前月比(%)			
長崎県	69.3	△4.3	72.6	△10.3
九州	102.4	1.7	103.7	△3.4
全国	94.7	△0.5	95.5	△3.9

鉱工業生産指数の推移【季節調整済指数】



令和2年11月の鉱工業生産指数は、季節調整済指数が69.3で対前月比は4.3%の減、原指数は72.6で対前年同月比は10.3%の減となった。

業種別にみると、はん用・生産用機械工業、繊維工業など5業種が上昇し、食料品工業、電子部品・デバイス工業、輸送機械工業など8業種が低下した。

○主な上昇業種

業種	前月比(%)	前年同月比(%)	上昇に寄与した主な品目
はん用・生産用機械工業	44.1	11.6	蒸気タービンの部品・付属品
繊維工業	27.2	△30.9	織物製外衣

○主な低下業種

業種	前月比(%)	前年同月比(%)	上昇に寄与した主な品目
食料品工業	△16.7	△14.9	その他の調味料
電子部品・デバイス工業	△6.7	△9.1	半導体集積回路
輸送機械工業	△6.4	△13.1	新造船

(注) 前月比は季節調整済指数の対前月増減率、前年同月比は原指数の対前年同月増減率のことである。

【長崎市消費者物価指数】…………… 12月

総合指数(H27=100)

103.2

対前月比(%)

△0.3

対前年同月比(%)

△0.6

令和2年12月の長崎市の消費者物価総合指数は、平成27年を100として、103.2である。

前月比△0.3%の下落で、主な上昇要因は「交通・通信」の+0.1%、「家具・家事用品」の+0.3%であり、主な下落要因は「食料」の△0.3%、「被服及び履物」の△1.7%である。

前年同月比は、令和2年8月は+0.2%、9月は+0.7%、10月は△0.2%、11月は△0.5%と推移した後、12月は△0.6%の下落であった。

また、生鮮食品を除く総合指数は103.2であり、前月比は△0.1%であり、前年同月比は△0.7%であった。

(前月との比較)

△上昇した費目

家具・家事用品	0.3%
保健医療	0.2%
交通・通信	0.1%

▽同水準の費目

住居	±0.0%
教育	±0.0%

▽下落した費目

食料	△0.3%
諸雑費	△0.4%
教養娯楽	△0.6%
光熱・水道	△0.7%
被服及び履物	△1.7%

【家計(長崎市・勤労者世帯)】…………… 12月

消費支出(一世帯当たり) 305,236円

前月比

49,879円増(19.5%増)

令和2年12月の長崎市・勤労者世帯(農林漁家世帯を含む)の消費支出は305,236円で、前月比19.5%の増、前年同月比は30.3%の減であった。

平均消費性向(可処分所得に占める消費支出の割合)は42.8%であった。

(注)「長崎市の勤労者世帯の家計の平均」と考えず、参考値として利用ください。